

## II. 基本計画の確認

本設計の基礎・条件となる施設の配置・形状等を確認するため、基本計画の内容を以下に示す。  
 なお、基本計画は、市民説明会を実施し、市民の意見等を踏まえつつ確定した。その市民説明会での市民の意見・質問等については、議事録に示す。

### 1. 樹林地・湿地の保全・活用計画

樹林地・湿地の保全は、既存の資料・文献等で類似事例等を基に、市民等の参画のもとで試験的な保全管理の手法を試み、その後のモニタリングを通じて、多様な自然環境の推移と活動主体の状況を把握しながら、適切な「方法」、「場所」、「規模」等を模索していく。

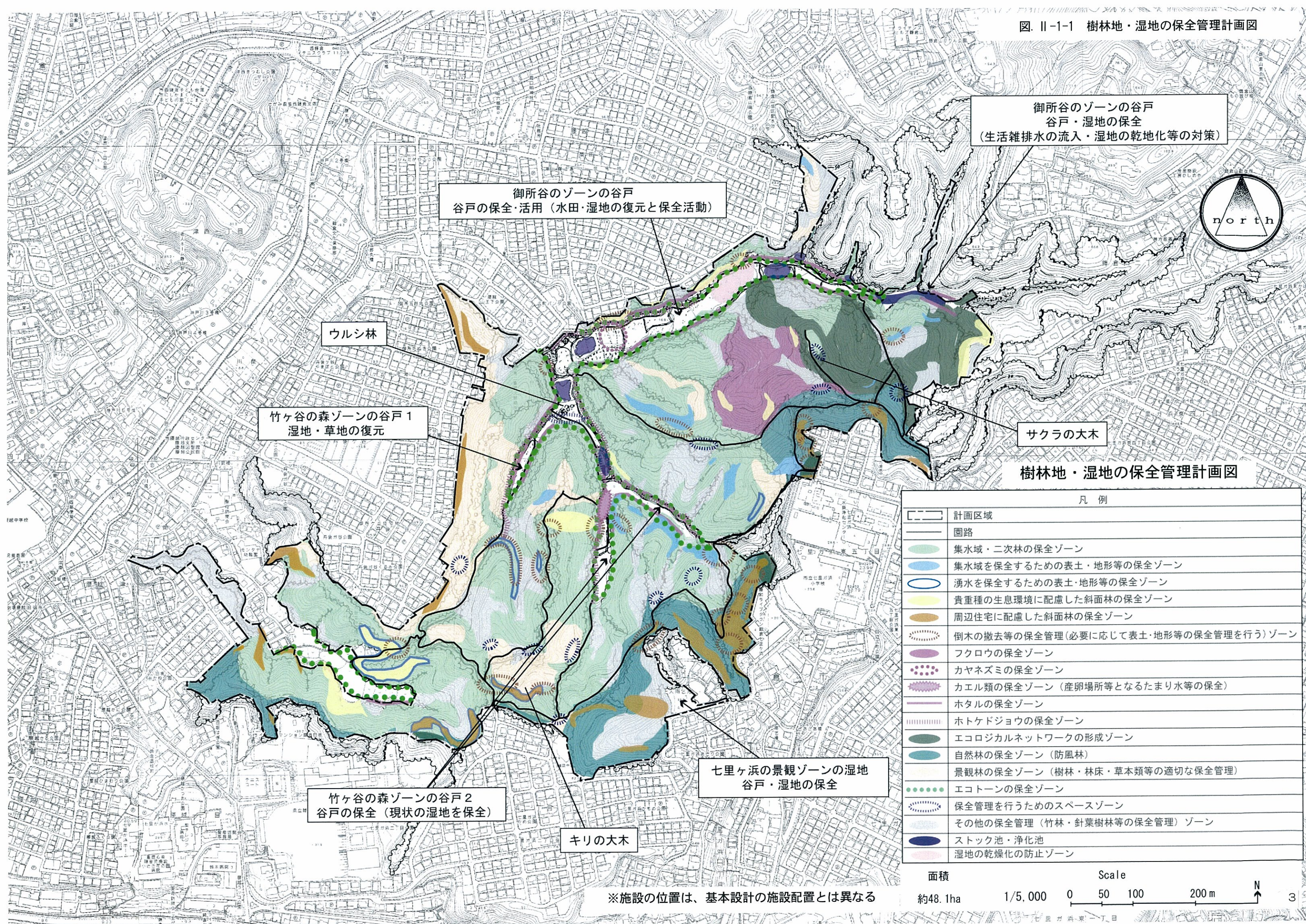
また、こうした市民等の参画による身近な自然の保全活動や観察は、環境教育・総合的学習等の場としての活用にもつながり、高齢者や子どもたちの生きがいや楽しみ、大人の健康増進等さまざまな効果を生むことになる。

なお、樹林地・湿地の保全管理の方針及び計画図は以下のとおりである。

表 II-1-1 樹林地・湿地の保全管理の項目

保全・活用の方針	保全管理の項目	
	項目	概要
湧水・集水域等の水源域の保全	集水域を保全するための樹林の保全管理 (集水域・二次林の保全)	・二次林の萌芽更新・択伐等の樹林の適切な保全管理 ・倒木の防止・地表の保水力の向上・集水域の喪失の防止
	集水域を保全するための表土・地形等の保全管理 (表土・地形等の保全)	・急傾斜地の樹木は高伐りまたは伐採を行う ・林床の樹種を優先させていく
	湧水を保全するための表土・地形等の保全管理 (表土・地形等の保全)	・枝落しなどで林床の照度を確保し、植生量の増大による表土等の地すべり・流出等の防止
注目種の保全 ・フクロウ ・タヌキ ・カヤネズミ ・カエル類 ・ホタル ・ホトケドジョウ	注目種の各個体に適した生息環境の保全管理	・注目種の生息環境の把握 ・適切な保全管理による注目種の保全
	注目種の生息環境の喪失・減少を防止するための表土・地形等の保全管理(斜面林の保全)	・急傾斜地の樹木は高伐りまたは伐採を行う ・林床の樹種を優先させていく ・枝落しなどで林床の照度を確保し、植生量の増大による表土等の地すべり・流出等の防止
地すべり等による周辺住宅への被害の防止	周辺住宅への地すべり等の被害を防止するための表土・地形等の保全管理(斜面林の保全)	・急傾斜地の樹木は高伐りまたは伐採を行う ・林床の樹種を優先させていく ・枝落しなどで林床の照度を確保し、植生量の増大による表土等の地すべり・流出等の防止
急傾斜地の植生の保全管理	急傾斜地の植生の保全管理 (倒木の撤去、必要に応じた表土・地形等の保全管理)	
エコロジカルネットワークの保全	エコロジカルネットワークの形成のための樹林の保全管理	・周辺のみどりとの結節部の樹林等を保全し、できるだけ人的影響を受けない樹林の形成(自然の遷移に委ねた樹林等)をすることにより、自然の拠点形成させ、エコロジカルネットワークを図る
防風機能を持った樹林の保全	防風機能を保持するための樹林の保全管理(自然林の保全)	・七里ヶ浜周辺に面した樹林等、計画地の外周部に沿って生育している樹林の適切な保全管理を行う ・樹林の管理は原則として自然の遷移に任せるが、急傾斜地等に生育し、倒木等の恐れがある樹木については、伐採・択伐等を行う ・ツル類が樹木に巻きつくことにより、倒木を引き起こす可能性があるため、定期的にツル切りを行う
景観の保全	景観を保全するための樹林・林床・草本類等の保全管理	・樹林景観の連続性を確保するため、必要に応じて補植等を行う ・アズマネザサ等の繁茂により、良好な樹林環境の阻害が懸念される場合、必要に応じて下草刈りを行う
保全管理スペースの確保	樹林・湿地の適切な保全管理を行うためのスペースの確保	・樹林・湿地の適切な保全管理を行うための、「資材置き場」、「休憩スペース」「保全管理スペース」等のスペースを確保するため、必要に応じて下草刈りを行う
エコトーンの保全	樹林と湿地を接続する多様で複合的な環境(エコトーン)の保全管理	・湿地から樹林への連続した環境は、複合的で多様な環境を日常的に維持するため、総合的で計画的な維持管理を行う





御所谷のゾーンの谷戸  
谷戸・湿地の保全  
(生活雑排水の流入・湿地の乾地化等の対策)

御所谷のゾーンの谷戸  
谷戸の保全・活用 (水田・湿地の復元と保全活動)

ウルシ林

竹ヶ谷の森ゾーンの谷戸1  
湿地・草地の復元

サクラの大木

樹林地・湿地の保管理計画図

凡例	
	計画区域
	園路
	集水域・二次林の保全ゾーン
	集水域を保全するための表土・地形等の保全ゾーン
	湧水を保全するための表土・地形等の保全ゾーン
	貴重種の生息環境に配慮した斜面林の保全ゾーン
	周辺住宅に配慮した斜面林の保全ゾーン
	倒木の撤去等の保管理(必要に応じて表土・地形等の保管理を行う)ゾーン
	フクロウの保全ゾーン
	カヤネズミの保全ゾーン
	カエル類の保全ゾーン(産卵場所等となるたまり水等の保全)
	ホタルの保全ゾーン
	ホトケドジョウの保全ゾーン
	エコロジカルネットワークの形成ゾーン
	自然林の保全ゾーン(防風林)
	景観林の保全ゾーン(樹林・林床・草本類等の適切な保管理)
	エコトーンの保全ゾーン
	保管理を行うためのスペースゾーン
	その他の保管理(竹林・針葉樹林等の保管理)ゾーン
	ストック池・浄化池
	湿地の乾燥化の防止ゾーン

竹ヶ谷の森ゾーンの谷戸2  
谷戸の保全(現状の湿地を保全)

七里ヶ浜の景観ゾーンの湿地  
谷戸・湿地の保全

キリの大木

※施設の位置は、基本設計の施設配置とは異なる

面積 約48.1ha      Scale 1/5,000

0 50 100 200 m

N ↑

3